平成 14 年 5 月 21 日規則第 3 号

筑西広域市町村圏事務組合消防職員服制規則(昭和 48 年組合規則第7号)の全部を改正する。 (服制)

第1条 筑西広域市町村圏事務組合消防職員の服制は、別表のとおりとする。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、平成14年4月1日から適用する。

別表(第1条関係)

別表(第1条関係) 「一一】」						
	色			濃紺		
			男性	円形とし、前ひさし及びあごひもは、黒色とする。		
				あごひもの両端は帽の両側において金色金属製消防章各1個で		
				とめる。		
	大蟆			形状は、図のとおりとする。		
			女性	円形つば型とし、帽のまわりに濃紺又はその類似色のリボンを巻		
夕				くものとする。		
冬帽				形状は、図のとおりとする。		
	き章			銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱擁する。		
				台地は濃紺とする。		
				形状及び寸法は、図のとおりとする。		
				男性については、帽の腰まわりには、黒色のななこ織を巻き、消		
	周章			防司令以上の場合には、じゃ腹組金線及びじゃ腹組黒色線を、消		
				防司令補の場合には、じゃ腹組黒色線を巻くものとする。		
				形状及び寸法は、図のとおりとする。		
	色			紺		
				円形とし、前ひさし及びあごひもは、紺又はその類似色とする。		
	製式		男性	あごひもの両端は、帽の両側において金色金属製消防章各1個で		
				とめる。		
				天井の両側にはと目をつけ、通風口とする。		
				腰は藤づるあみとし、すべり革には、所要の通風口をつける。		
夏帽				天井の内側には、汚損よけをつける。		
				形状は、冬帽と同様とする。		
			女性	冬帽と同様とする。		
	き章			冬帽と同様とする。		
	さ早			ただし、台地は紺とする。		
	周章			男性については、帽のまわりに、紺又はその類似色のなな子織を		
	月早			巻くものとする。		
	色			濃紺		
略帽	製式			前ひさし及びあごひもは、濃紺とする。		
				あごひもの両端は、帽の両側において金色金属製消防章各1個で		
				とめる。		
				形状及び寸法は、図のとおりとする。		
	き章			銀色金属製消防章とする。		
				台地は濃紺とする。		
				形状及び寸法は、図のとおりとする。		
防	保	色又は地質		黒又は銀の強化合成樹脂又は堅ろうな材質		
火帽	保 安 帽	製式		かぶと型とし、内部に頭部の振動を防ぐ装置をつける。		
				前後部にひさしをつけ、あごひもは、合成繊維とする。		
				•		

					形状は、図のとおりとする。
					銀色金属製消防章とする。台地は地質と同じものとする。
		き章			形状及び寸法は、図のとおりとする。
		周章			帽の腰まわりに1条ないし3条の白又は赤の反射線をつける。
•					寸法は、図のとおりとする。
		色又I	は地質		銀又は濃紺の耐熱性防水布
•	しいめ	製式			取り付け金具により保安帽に付着させるものとし、前面は、両眼
					で視認できる部分を除き閉じることができるものとする。
					形状は、図のとおりとする。
		周章			しころのまわりに1条ないし3条の白又は黒の反射線をつける。
					寸法は、図のとおりとする。
	色又は地質				暗い灰色で、ポリエステルと羊毛との混紡糸を使用したサクソニ -
					前ひさしは地質と同じものとし、その表を白の反射テープで覆 う。
冬数	製式				あごひもは、灰色のビニール製とし、その両端は、帽の両側にお
冬救急帽					いて銀色金属製消防章各1個でとめる。
帽					形状及び寸法は、図のとおりとする。
	章き				略帽と同様とする。
	周章				帽のまわりに1条ないし3条の白のレーヨン製あや竹リボンを
					巻くものとする。
					寸法は、図のとおりとする。
应	色又は地質				暗い灰色で、ポリエステルと羊毛との混紡糸を使用した霜降りト
盛夏救急帽	製式				ロピカル
急					冬救急帽と同様とする。
帽	き章				略帽と同様とする。
	周章	ᅩᄔᇿᄃᄃ			冬救急帽と同様とする。
勃	色又は地質				オレンジ色で難燃性のものとする。
救助帽	製式				前ひさし及びあごひもは、地質と同じものとする。
lie	+ + +				形状及び寸法は、図のとおりとする。
	章を	-			略帽と同様とする。
	上衣	色			冬帽と同様とする。
		製式	前面	男性	折りえり
冬服					胸部は二重とし、消防章をつけた金色金属製ボタンを 2 行につける。
					形状は、図のとおりとする。
, JIX				女	
				女性	打合わせを右上前とするほかは、男性と同様とする。
			階級章		黒の台地とし、上下両縁に金色ししゅう状を施し、中央に平織金 線及び銀色消防章をつける。

			I		
					階級章は、右胸部につける。ただし、消防長の職にある者は、こ
					れをつけないことができる。
					形状及び寸法は、図のとおりとする。
					銀色の台地とし、金色線3条及び黒色線2条を配し、中央に、い
			NV = 1		ぶし銀色の桜葉及び銀みがきの桜花で囲んだはめ込みの金色消 はまたわまる
			消防長章 		防章を配する。
					消防長章は、階級章の上部につける。
				形状及び寸法は、図のとおりとする。	
			そで章		黒色しま織線1条に消防司令補以上はじゃ腹組金線1条を消防
					士長はじゃ腹組銀線1条を表半面にまとい、その下部に消防司令
					以上の場合には、金色金属製消防章をつける。
					形状及び寸法は、図のとおりとする。
			えり章		左えりに、筑西広域市町村圏事務組合消防本部を表徴するバッジ 1 個をつける。
		色			上衣と同様とする。
			男性		長ズボンとする。
	下衣	製式			形状は、図のとおりとする。
					長ズボン、スカート又はキュロットスカートとする。
			女性		形状は、図のとおりとする。
		色	l		淡青
•			前面	男性	シャツカラーの長そで又は半そでとする。
	上衣	製式			淡青又はその類似色のボタンを1行につける。
					形状は、図のとおりとする。
夏服				女性	打合わせを右上前とするほかは、男性と同様とする。
					外側の端を肩の縫目に縫いこみ、えり側を淡青又はその類似色の
			肩章		ボタン1個でとめる。
	下衣	色			夏帽と同様とする。
	农	製式			冬服下衣と同様とする。
	上衣	色			略帽と同様とし、えり、肩及び背面上部(図中網掛け部分)にオ レンジ色を配する。
活		製式			長そでとし、背面上部に消防本部名を表示する。
					用途に応じ、通気性、難燃性、強度、帯電・静電気防止等の機能
活動服					性に配慮する。
7314					形状は、図のとおりとする。
	ズボン	色			略帽と同様とする。
		製式			長ズボンとする。
		<u> </u>			

				用途に応じ、通気性、難燃性、強度、帯電・静電気防止等の機能 性に配慮する。
				形状は、図のとおりとする。
	色又	は地質		防火帽しころと同様とする。
防火衣	製式			折りえりラグランそで式バンドつきとする。 肩及びその前後に対衝撃材を入れ、上前は、5個のフックとし、 ポケットは左右側腹部に各1個をつけふたをつける。 形状は、図のとおりとする。
	上衣	色又は地質		明るい青みの灰色で、表面はポリエステルを、裏面はポリエステ ルと綿との混紡糸を使用したピッケ
		製式	前面	台えり付きシャツカラーの長袖とし、ウェストラインにタックを いれる。
				比翼仕立てとし、胸部左右に各1個、左肩下に1個のポケットを つけ、胸部左右のポケットにはふたをつける。
				えりに、ポリエステルと綿との混紡糸を使用した白のブロードの 替えりをつける。
冬				胸部左のポケット上部に地質と同じ台地に消防本部名を濃い灰 色糸でししゅうしたししゅうネームを縫いつける。
冬救急服				形状は、図のとおりとする。
服			肩章	外側の端を肩の縫い目に縫い込み、ソロの反射テープの肩章カバーを差し込むとともに、えり側を地質と類似色のボタン1個でとめる。
			階級章	冬服上衣と同様とし、胸部右のポケット上部につける。
	ズボン	色又	は地質	冬救急帽と同様とする。
		製式		長めのタックを入れた長ズボンとし、両もも及び左右後方に各 1 個のポケットをつける。左右後方のポケットはボックスプリーツ上切替え仕立てとする。 形状は、図のとおりとする。
	上衣	色又は地質		明るい黄みの灰色で、ポリエステルを使用したピンホールトロピカル
盛夏救急服		製式		長そで又は半そでとし、その他は、冬救急服上衣と同様とする。 ただし、半そでの場合は、左肩下のポケットをつけないものとす る。 形状は、図のとおりとし、図中二重斜線部分はスリット空き、背
XILI				裏メッシュ仕立てとする。
	ズボン	色又は地質		盛夏救急帽と同様とする。
		製式		冬救急服ズボンと同様とする。

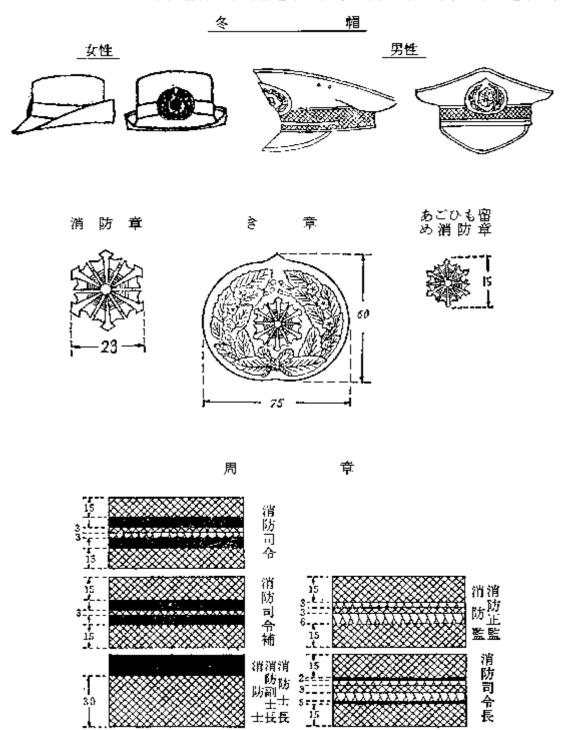
		l		
救助服	上	色又は地質		救助帽と同様とする。
	上衣	製式		開きんの長そでとし、胸部左右に各1個のポケットをつける。
				形状は、図のとおりとし、図中二重斜線の部分は当て地とする。
	ズ	色又は地質		上衣と同様とする。
	ズボン	制 士		長ズボンとし、両ももの側面に各1個のポケットをつける。
		製式		形状は、図のとおりとし、図中二重斜線の部分は当て地とする。
	色			冬服上衣と同様とする。
				折りえり
				胸部は二重として、消防章をつけた金色ボタンを 2 行につけ、胴にはバンドをつける。
外				後面はすそを裂くものとする。
外とう	大學		男性	えり部に頭きんどめの黒色ボタンをつけ、頭きんに鼻おおい1個 及び黒色ボタンをつける。
				そで章は、冬服上衣そで章と同様とする。
				形状は、図のとおりとする。
			女性	打合わせを右上前とするほかは、男性と同様とする。
	色			濃紺
				折りえり 胸部は二重として、濃紺又はその類似色のボタンを 2 行につけ、 胴にはバンドをつける。
্র ক্র				後面はすそを裂くものとする。
雨衣	製式		男性	頭きん及び頭きんどめは、外とうと同様とする。
				そでにそでバンドをつけ、一端を内側の縫目に縫い込み、他の一 端は濃紺又はその類似色のボタンでとめる。
•				形状は、図のとおりとする。
			女性	打合わせを右上前とするほかは、男性と同様とする。
ワイ	シャツ			白
手袋				白
バンド				前金具の中央には、消防章をつける。ただし、救急用は白の合成 皮革とし、前金具の色は、銀色とする。
				形状及び寸法は、図のとおりとし、救急用は図中斜線部分に白の 反射テープをつける。
靴				黒の短靴又は半長靴とする。ただし、防火用は銀色又は黒のゴム 製長靴(踏抜き防止板を挿入する。)、救急用は黒革の短靴又は 必要に応じ、黒のゴム製長靴、救助用は黒の編上式半長靴とする。
消防手帳				表紙は、黒色の革製又はこれに類似するものとする。

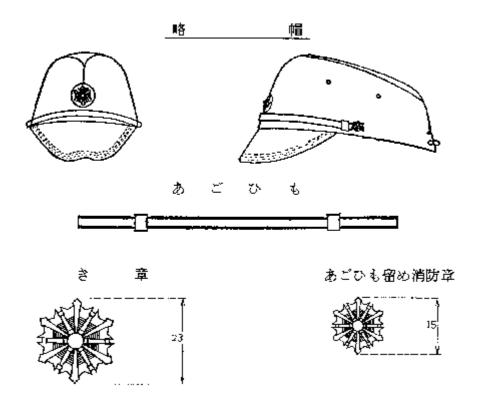
中央上部に消防章を、その下に消防本部名を、それぞれ金色で表示し、背部に鉛筆差しを設け、その下端に長さ 45 センチメートルの黒色ひもをつけ、表紙内側には、名刺入れをつける。用紙は、恒久用紙と記載用紙とに分け、いずれも差し替え式とし、その枚数は、恒久用紙 10 枚、記載用紙 80 枚とする。

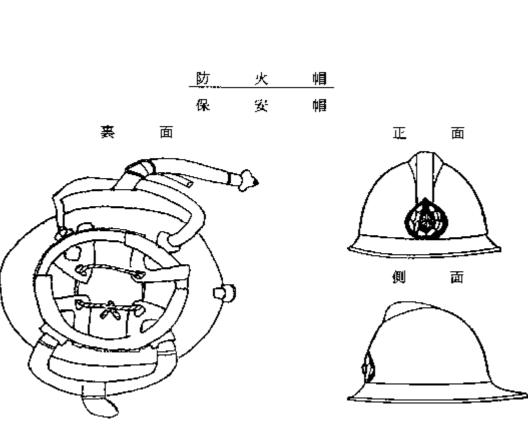
形状及び寸法は、図のとおりとする。

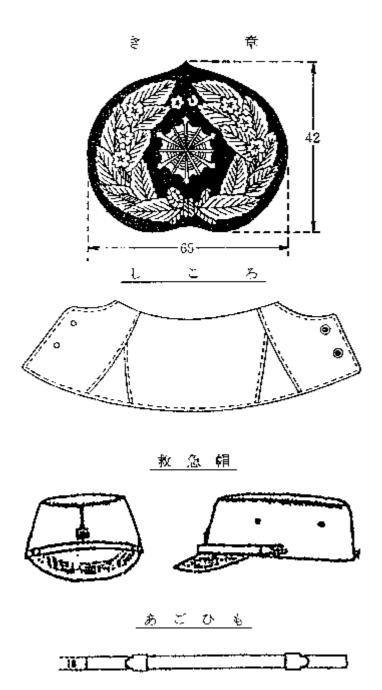
備考

- 1 略帽については、アポロキャップをもって、これに代えることができる。
- 2 冬帽若しくは冬服又は夏帽若しくは夏服についてその一部にオレンジ色を配し、又は冬服若しくは夏服と併せて用いるエンブレム、ネクタイ等についてオレンジ色を基調としたものとすること等により、冬服、夏服等の一部にオレンジ色を配するものとする。
- 3 冬服及び夏服に併せて、必要に応じ、ベストを着用することができる。
- 4 夏服のえりについては、開きん(小開き式)をもって、シャツカラーに代えることができる。
- 5 活動服については、ファスナーをもって、ボタンに代えることができる。
- 6 外とうについては、ブルゾンをもって、これに代えることができる。
- 7 消防手帳については、消防章、消防本部名及び図消防手帳の部中恒久用紙に表示された事項を表示したカードをもって、これに代えることができる。
- 8 形状に関する図で示しているポケット、ボタンの数及び位置については、図と異なるものとする ことができる。

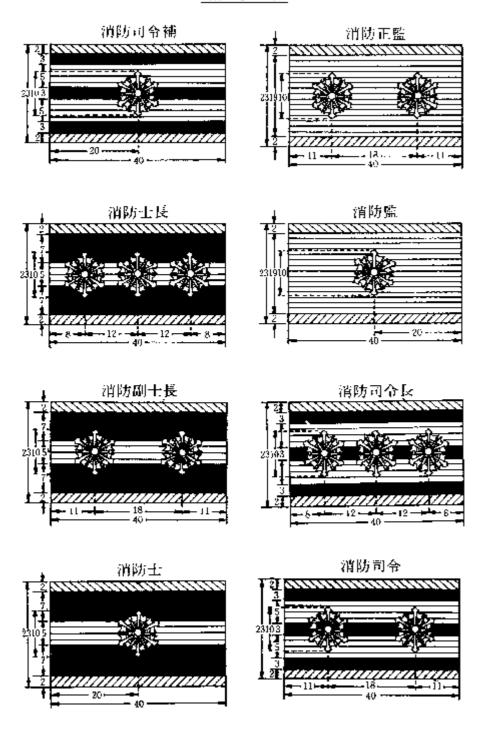






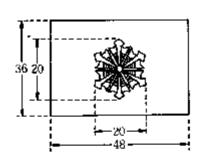


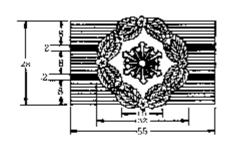
階級 章



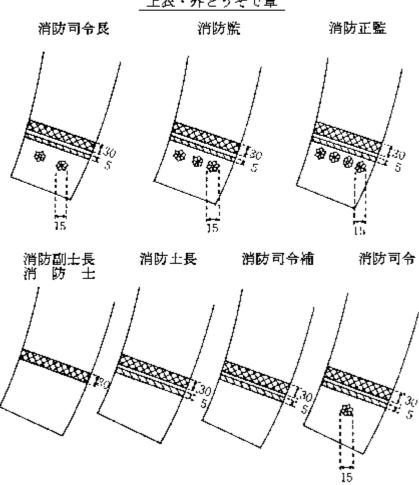


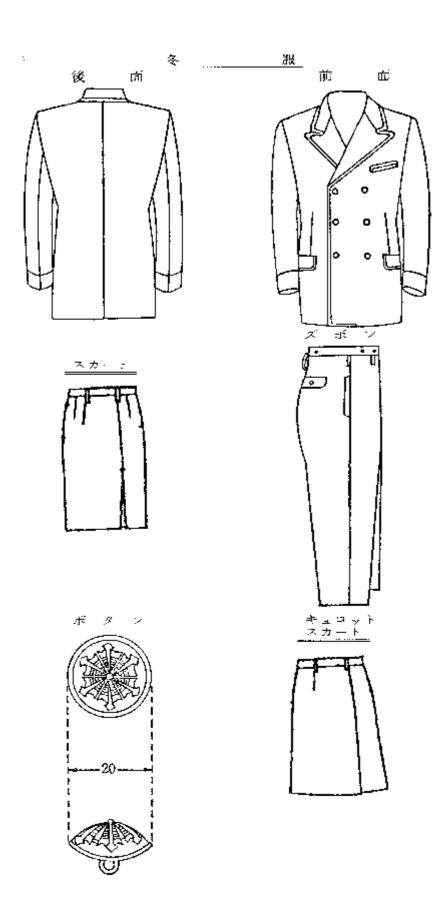
消防長章

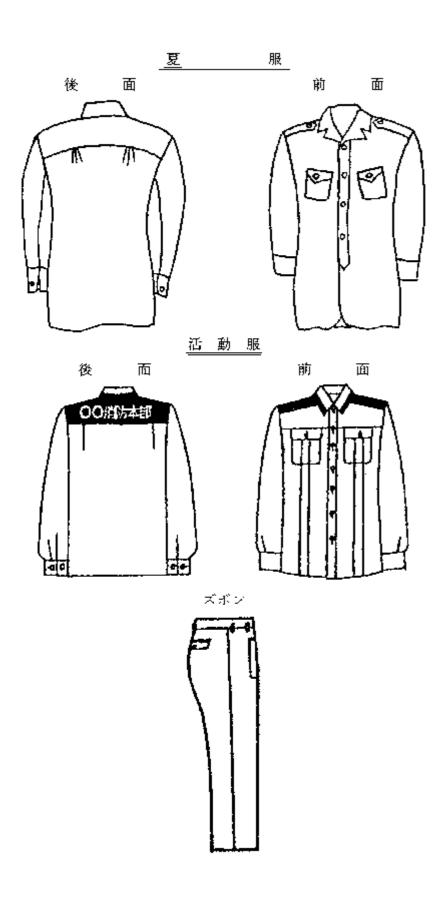


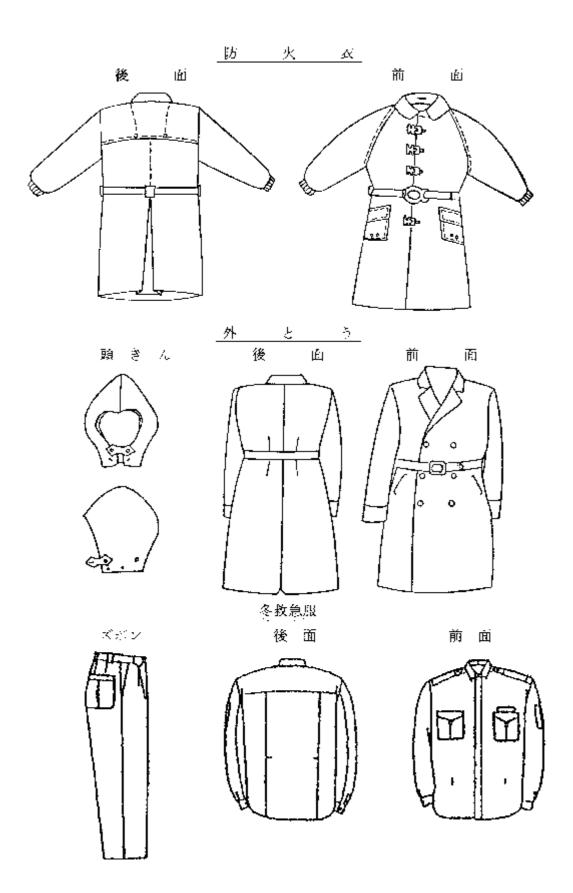


上衣・外とうそで章

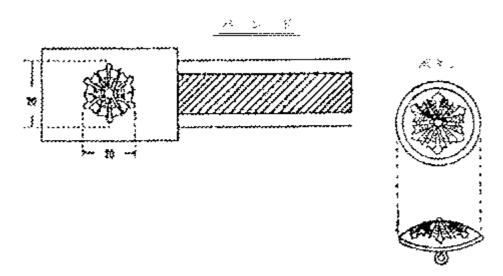


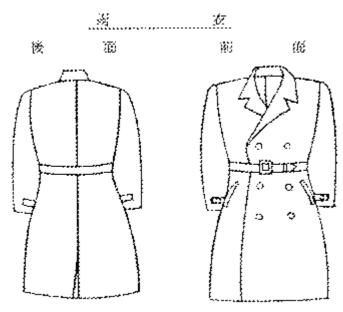






盛夏救急服 後 面 ांगं गंग 後面 前鱼 助服 メボン 後 面 前面





消防手帳

